

#### 青の時代

三十年くらい前まで、食品にブルーの箱を使うと食欲がなくなるので、「他の色でお願いします。」とよく言われていました。

それは今や、遠い昔話。

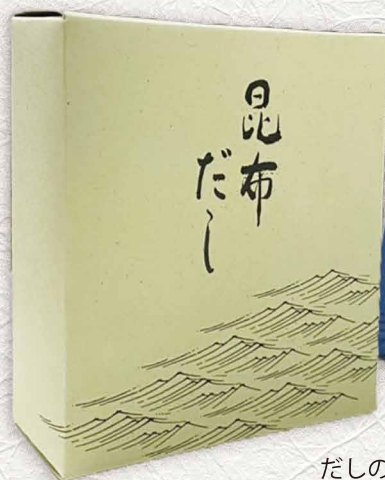
銀座の歩行者天国が始まった当時、銀座にパーラーがオープンし、先人のデザイナーがイメージカラーにブルーとシルバーを使って粋な紙袋をデザインし、今日も江戸っ子のお気に入りとなっているようです。

また、スナック菓子キャラメルコーンのキャラクターの目の色が当初は黒だったのを、ブルーに変えただけで売り上げが上昇。今もブルーの伝統を守りよく売れています。最近では、青いショートケーキも登場してインスタ映えするとか。

今回、大和板紙でもインディゴブルー、ゆるチップ（つき）が新登場。二つの板紙で、色々な試作品を作りました。

インディゴブルーの板紙は、日本で初めてジーンズを履いた従順ならざる日本人、白洲次郎の伝統を守り次の時代を作ったものに似ていると思います。

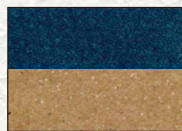
今まさに、青の時代が訪れています。



だしのパッケージデザイン

#### インディゴブルー

- インディゴブルー
- 230g/㎡
- 古紙配合率 70%



- パルプと一般古紙を使用し、表層を深みのある濃い青色に染色しています。裏面は古紙の風合いを残し、薄茶色に仕上げています。本の装丁に。

#### ゆるチップ（つき）

- ゆるチップ（つき）
- 230g/㎡
- 古紙配合率 70%



- 装丁作家祖父江慎氏のプロデュースにより、週刊マンガ雑誌などに使われている薄色紙（せんか紙）のイメージを再現。ほんのり淡い黄色の再生紙です。本の装丁やポスターなどに。



DAIWA ITAGAMI

#### 大和板紙株式会社

〒582-0004 大阪府柏原市河原町5番32号  
TEL.072-971-1445 FAX.072-971-1449  
E-mail daiwa@ecopaper.gr.jp  
http://www.ecopaper.gr.jp

資料請求・お問い合わせは左記までお気軽にどうぞ！

紙のお求めは「大和板紙 文具館」で

<https://www.kamidoraku.com>

MOTOI DESIGN issues it.